

山寺ふるさと便り =第19号=

宝珠のしずく

題字 後藤仁田(性相院)

発行所 やまでら館

〒999-3301 山形市山寺517-1
TEL 023-695-2001 FAX 023-695-2164

発行者 山寺地区振興会
編集 宝珠のしずく編集委員会



「初めて乗って、おもしろかった。本物の機関車みたいに、蒸気をはいて走った。速く走ったり、ゆっくり走ったり、汽笛も鳴ったよ。何回も乗せてもらった。お姉ちゃんをさそうとかかった。」

「ミニ新幹線にも乗れた。かじの木クラブに入っていない友達も乗れるんだったんだ。いっぱい来ると、もつともつと楽しかったのに・・・。」

「子どもの乗車会だと思っていたけど、大人が乗っても、結構楽しいね。下の子を連れてきて、乗せたかった。こんなもようしいいね。」

平成26年10月末で、かじの木子どもクラブが開所して10周年を迎えた。記憶に残る記念事業にと、親子ミニSL体験乗車会が、やまでら館駐車場で実施された。

かじの木クラブは、山形市からの支援で運営し、放課後、お父さん・お母さんが子どもたちを迎えに来てくれるまで元気に、安全に過ごす施設である。

山寺地区の皆さん、これからも、かじの木クラブを温かく見守って下さい。

山形-山の向こうにもう一つの日本

ライシャワー博士寄稿文碑

平成27年、多くの年頭所感で「地方創生・地方の個性と持ち味、資源を生かす」が強調された。



山形の「個性と持ち味」を見事に指摘した「ライシャワー博士寄稿文碑」が山寺芭蕉記念館前庭に立っている。エドウィン・ライシャワー氏が昭和63年に山形市の女性グループ「風」の英文本「YAMAGATA」に寄稿された「山形―山の向こうのもう一つの日本」が刻まれている。

『日本はある意味で、二つの違った国で成り立っています。一つは、巨大な工場や切れ目なく続く都市、そして東京一帯から北九州まで延々と続く高速道路から成り立っています。ところが、このおびただしい主要地域とは遠くない所に、もう一つの日本が存在する

のです。そこには、果てしなく続く山脈や大森林が広がり、そしてあちこちに点在する村や町や小都市の住民にとつて、とても快適な生活空間があります。日本の本来の姿を思い出させる美しい所です。



私はこの『もう一つの日本』に属する山形を訪ねるに当たり、あえて晩冬を選びました。雪に埋もれた冬の不思議な山形に連れて行ってくれました。私には、ほんの一瞬のうちに世界の半分を旅したかのように感じられました。山形の人は雪のことを言い訳し、当惑しているように思

われました。しかし、私には素晴らしいことに思われました。雪や山々や広大な山形の自然の美しさに、さらに素敵な魅力を加えてくれるのですから。

私の学者としての経歴のはじめに、円仁（慈覚大師）の日記の翻譯や研究に多くの年数を費やしました。円仁は日本の僧侶で、9世紀に10年にわたる中国留学の間、日記を書き続けたのです。後に円仁は山形に寺を築き、その遺品は山形の歴史的財産になっているのです。

山形の人々もまた魅力的です。外国人の訪問客には新鮮な気持ちで親切にしてくれます。私は友人から日本でどこを見るべきかと尋ねられると、きまづき踏みあらされた道から一歩はずれてみるよう勧めます。

しかし、私は強く言いたいのです。山形を良い例として「もう一つの日本」を見落としてはいけません。将来において自然と人間が健全なバランスをとっている、そのような「もう一つの日本」



本」に日本全体がなることを望みます。（抜粋紹介）

ライシャワー氏は、第35代米国大統領ジョン・F・ケネディのもとで駐日大使（昭和36年〜41年）を務められた。昭和40年、ハル夫人と来県され、山寺をも訪問。

氏は米国きつての日本研究・親日家であった。慈覚大師円仁の研究で博士号取得。円仁の「入唐求法巡礼行記」を世界に紹介。「入唐求法巡礼行記」は、東洋三大旅行記と称えられるようになった。

ケネディ大統領の長女、キャロライン・ケネディ駐日大使が、昨年9月28日、山寺を訪れた。しかし、『ライシャワー博士寄稿文碑』への案内がなかったとのこと、残念の極み。氏は、着任の挨拶で、「父ケネディ氏が米沢藩上杉鷹山公を尊敬していた」と紹介、話題となる。吉村山形県知事、安部米沢市長が招聘に乗り出し、平成26年9月27日、米沢市を公式訪問。翌日、山寺を私的に訪問。立石寺浄田前住職、正田現住職の案内で立石寺境内を楽しく巡られた。



旧山寺ホテル 建設秘話



明治・大正期の旧山寺ホテル

☆行啓が山寺村を救った

山寺の村づくりをかけた東宮嘉仁親王(後の大正天皇)行啓が、明治41年9月18日に実現することになり、山寺村は沸き返った。

明治期の山寺村は明治新政府による宝珠山立石寺寺領の没収、県内の鉄道・道路網の整備による二口街道の衰退により、村の経済基盤が危機に陥り、離村者が続出する状況だったのである。

☆馬淵県知事がホテル建設提案

行啓当日、東宮嘉仁親王殿下が観明院の石段をお下りの際、馬淵県知事に「もう一度来よう」と仰せられたという。

新聞はこぞって、「奥羽の耶馬溪(やばけい)」と大々的に報道、全国に知れ渡ることとなった。行啓翌日から10月3日までの二週間、宝珠山立石寺境内の御休憩所(現行啓記念館)が公開された。県内外からの数万人の参詣者で賑わい、公開後も、連日、山王祭を凌ぐ人出があったと記録されている。(仙山線は未開通) 明治41年9月25日、馬淵県知事が立石寺を訪れ、左記の話をなされたと云う。

☆山寺に茶屋を設ける事

☆ホテルを建設する事

☆山形より自動車運転する事

行啓後の大勢の参詣者を目にした馬淵県知事は、数軒の旅籠宿では今後、手狭になるであろう。山寺を楽しんでもらうには、ホテルが必要だ

と発想なされての提案であった。

☆明治期の旧山寺ホテル建設経過

行啓後の山寺の振興発展を願い、「旧山寺ホテル」の建設は、今野有石氏をリーダーに協議され「行啓記念旅館：山寺ホテル」として建設されることになった。

明治43年1月、山寺ホテル建設株主総会が、多数の方が出席し立石寺本坊で開かれた。

ホテル建設趣意書、建設を満場一致可決。2月の総会では、「行啓記念旅館：山寺ホテル」の規則ホテル建設敷地購入等を決定。4月5日、地鎮祭に着手。東根町の泉館を買入れ、5月29日ドンヅギ、7月2日柱立てと進められた。7日には建前。

明治45年11月11日山寺ホテル落成

式を執り行った。

☆旧山寺ホテルは

観光山寺のシンボル

山寺ホテルは玄関前に庭園をあつらえ、二階の大広間から宝珠山立石寺本坊、御山を一望できる場所に建

設。また、仙山線の開通に当っては、小野善三氏の計らいで山寺駅を山寺ホテルの真正面、宝珠山立石寺一山が一目で眺望できるよう道路を整備することができたのである。

「山寺ホテル」は、「霊地・霊場の山寺」が『観光地山寺』へスタートしたシンボルと云える建物である。(資料：伊澤不忍栄次氏日記)

山寺地区振興会活動報告

知事と語ろう

市町村ミーティング

1月15日、吉村県知事、市川山形市長はじめ、県及び主な関係者が一同に会して、東南村山各市町村が抱える諸問題について話し合った。

山寺地区振興会からは4名が出席し、二口林道や観光全体の在り方等について意見交換した。

特に、山形市と仙台市を最短距離で結ぶ主要地方道「二口林道」の整備。林道をトンネル化し、年間通行可能にしてほしい。

この事により、仙台市との経済・文化・観光等の交流が膨らむとともに、万一の災害発生時にも有効活用できる事などを要望した。

民生児童委員

退任 増子 健一・伊澤ミツエ
新任 佐藤 恒也・増子 和宏

今味わう、先哲の言葉

徳を養う心がけ

立石寺住職 清原 正田

不_レ責_二人小過_一
不_レ発_二人陰私_一
不_レ念_二人旧惡_一
三_レ者_一可_レ以_レ養_二德_一
亦可_レ以_レ遠_二害_一

“人の小さな過失を責めたてず”、“人のプライバシーをあばかず”、“人の過去の悪事をいつまでも覚えていない”この三つの事を守れば、自分自身の徳が高くなり、災難から逃れられる。
心おだやかに暮らすためには、ぜひ守っていただきたいものです。

山寺を紹介する本(二冊)出版



山寺の先達・伊澤三右衛門栄次氏の明治35年と昭和31年までの

日記を新関孝夫氏が復刻・出版。山寺の歩みが分かる格好の書である。

もう一冊、

山寺観光協会発行の宝珠山立石寺境内のガイド本。70

枚の写真と短いコメントで分かり易く解説されている。

発行・山寺観光協会。是非、手にしてお山に登って見て下さい。お求めは山寺観光協会案内所で。



御利益を願ひ 出羽名刹三寺で御朱印を!!

DC開催に伴い、7月から9月にかけて、“立石寺で悪縁を切り、慈恩寺で若返り、若松寺で良縁を結ぶ”出羽名刹三寺参りが企画実施された。
無料配布されたオリジナル御朱印帳100枚が、特に『御朱印ガール』達に注目され、人気を博して11月まで延長。

今後は、三寺と各寺の観光協会とで「三寺参り連絡協議会」を設立、継続実施していく事になった。三寺と地域との観光連携がさらに密になるのではと期待される。
※御朱印ガール：お寺や神社でもらえる御朱印を集める女子

出羽名刹三寺まいり



表彰・受賞

- ・山形市花壇コンクール名誉賞
- ・山形地区振興会・追分花壇愛好会
- ・山形市功労者表彰（災害防護等）
- ・後藤 信博（面白山）
- ・井上喜代治（面白山）
- ・村形 則孝（面白山 現蔵王半郷）
- ・山形市「もてなしの達人」大賞「表彰
- ・遠藤まき子（南 院）
- ・山形市市民文化賞（夜行念仏継承）
- ・水野 徹（川原町）

全国大会出場

- ・第18回日韓夏季スポーツ交流大会
- ・卓球 韓国 全州市
- ・監督 遠藤 和彦（中地蔵）
- ・選手 山寺小6年 遠藤 伊織（川原町）
- ・全国小学校卓球大会（兵庫）
- ・山寺小4年 遠藤 海翔（川原町）
- ・全国少林寺拳法大会（埼玉）
- ・山寺小6年 後藤 翼斗（馬 形）

三情報 耳よりな話

- ◎〈東北六魂祭 in 山形〉
- ・東日本大震災からの復興を願い、東北六県を代表する祭が山形市に集結。
- ・好天に恵まれ、5月25・26日の二日間で26万人の出入。力強い、活気あふれる祭に、人々も演者も力をもらった。
- ・東北全土の復興が日本の復興に！
- ・2015年は秋田市で開催予定

平成二十六年の物故者

謹んでお悔やみ
申し上げます

- 〈千手院〉
- ・後藤 円蔵殿
- ・武田 十郎殿
- 〈所部〉
- ・伊澤 正義殿
- ・武田 沙織殿
- 〈馬 形〉
- ・後藤敬次郎殿
- 〈川原町〉
- ・遠藤 補充殿
- 〈南 院〉
- ・増子サタエ殿
- 〈芦 沢〉
- ・堀川えみ子殿
- ・滝口 勝蔵殿
- 〈中地蔵〉
- ・原田 義昭殿
- ・堀川すみ江殿
- ・山田 きく殿
- ・後藤 静雄殿
- ・後藤 哲夫殿
- ・武田 すみ殿
- ・佐藤政太郎殿
- ・増子喜久子殿
- ・柏倉 朋宏殿
- ・柏倉 恒男殿
- ・布施うめよ殿

- ◎サッカーの本田佳佑選手が、東北六県全ての小学校にサッカーボールをプレゼント。山寺小にも8個届けられた。
- 感謝感激！
- ◎山寺の位置と海拔は？

- 北緯…38度18分45・2秒
- 東経…140度26分14・6秒
- 海拔…221m
- ・山寺駅
- ・根本中堂
- ・せみ塚
- ・奥の院
- ・開山堂
- ・386m
- ・417m
- ・258m
- ・320m

たいこと、そして感謝と連帯」を主テーマに、全都道府県から43団体が選ばれ盛大に開かれた。

「ふうが」の皆さんも、指揮の川邊先生と共に連日猛練習を重ね、今日、明日、また明日「ブレンソング山寺」の2曲を披露し拍手をいただいた。

歌い終わると、全国の方々と心をつなげて合唱できたこと、それに、これまで長い間歌い続けてきたことの喜びがどつとこみ上げてきたという。



8月初めに山形歌声連絡会より推薦を受け、11月24日に仙台市青少年文化センターで催された歌の祭典へ参加した。

この大会は被災地の復興を願って、「今伝えたいこと、そして感謝と連帯」を主テーマに、全都道府県から43団体が選ばれ盛大に開かれた。

女声合唱団「ふうが」 「日本のうた」を祭典in宮城に参加



H26.6 遊仙峡岩小屋付近

市民ハイキングの遊仙峡溪谷巡りは、山寺駅を起点に毎年企画実施され、今年で30回を数える。

平成26年は、6月1日(日)、10月19日(日)に実施、170名超の市民の方々が参加。この事業は当初から山寺山愛会(会長 今田精一氏・馬形)の会員から、コースの下見、ガイド、昼食の竹の子汁、芋煮の賄いと全面的な協力で実施されてきている。

遊仙峡・面白山を満喫!!

やまでら館主催事業



〈中地藏〉
・石山和樹氏長女
瑠衣さん



〈中地藏〉
・石川順一氏二女
結菜さん



〈南院〉
・遠藤靖彦氏二男
真太郎さん

お誕生
おめでとう
平成二十六年生まれ



もう一つの事業は秋の北面白山登山、面白山駅を起点に実施。昨年は9月14日(日)に行われ、40名超の参加者があった。

両事業とも天候に恵まれ、山寺の大自然の素晴らしさや、季節の色や空気を感じながら、心ゆくまで満喫。参加者からは、「来年もまた参加したい。」との声が多く寄せられた。「山寺再発見」、地元山寺の皆さんも、是非参加してみてはいかがですか!!



武田 忠男 悦子 ご夫妻
(南院)



新関 孝夫 あき子 ご夫妻
(南院)



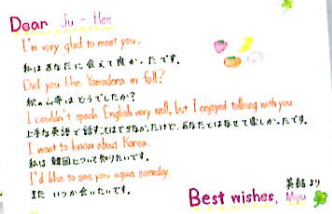
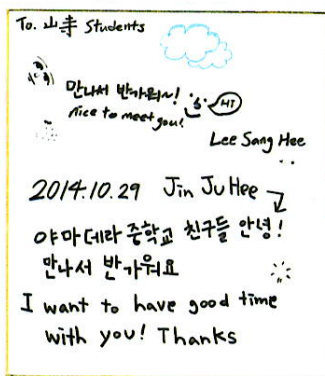
武田 良治 節子 ご夫妻
(千手院)

おめでとう
金婚さん



英会話で楽しく山寺を紹介

近い将来、英語学習（英会話）が小学校でも本格的に始まることになった。
すでに、山寺小・中学校では小学生も、英会話の基本やコミュニケーション力に身をつける学習を楽しく行っている。
中学校では、10年ほど前から、山寺を訪れた外国人観光客に、宝珠山立石寺境内を英語で案内し、好評を得てきている。
今年度も、7月には中学1・3年生がオーストラリア・



スワンヒル市からの訪問団に、10月には中学2年生が韓国の高校生を案内。立石寺境内の見どころを、自分達で考えたクイズ等を交え、ガイド内容を工夫しながら、互いに楽しい時間を過ごすことができた。その後、訪問へのお礼の手紙を送ったり交流が続いている。
こうした活動は、山寺の良さを見つめ直し、外国人観光客にどう伝えるかの英会話力向上に結びつくものと、期待されている。

スポーツを友好の掛け橋に

～日韓共同未来プロジェクト～

昨年8月16日～22日まで、韓国全羅北道、全州市で、第18回日韓青少年夏季スポーツ大会が開催された。卓球の部に、山形県代表選手として山寺クラブ山寺小6年遠藤伊織さんと、監督として山寺クラブ代表の遠藤和彦氏が選出され参加した。大会中、試合のみならず、韓国の歴史、文化探訪をしたり、アトラクションでは花笠踊りを披露するなど交流を深めた。

遠藤伊織さんは、「外国に行くのは初めてで、とても不安でした。韓国の選手は皆すごく強かったです。でも一緒にダブルスを組んだり、夕食を食べたりして、仲良くなれました。韓国の文化にも触れ、とても貴重な体験をすることができ、良かったです。」と。



山寺小・中学校便

★小・中学校の活動に生かしてほしいと、山寺民俗芸能保存会より締太鼓4台が寄贈されました。



★平成21年度から始めたペットボトルキャップ収集活動は現在も継続中!! 地域の方々の協力もいただき、5年間で約30万個(ポリオワクチン375人分)集め、届けている。

編集後記

第19号をお届け致します。今回も多くの方から協力頂き本当にありがとうございます。皆様のご感想、ご意見などを「やまでら館」宛にお寄せ頂ければ幸いです。「宝珠のしずく」創刊号より10年間編集委員としてご活躍頂いた後藤哲夫さんが亡くなられました。心からご冥福をお祈り申し上げます。

編集委員

新関 孝夫 ○布施 晶嗣
笹原 永吉 後藤 久
石川 進一 遠藤 まき子
佐藤 正紀